

東京 2020 大会開催に向けた取組み

1 各種スポーツ教室事業

(1) トップアスリート直伝教室

日本トップレベルの指導者・選手等から直接指導を受けるスポーツ教室を開催し、未来を担う子どもたちに夢と希望を与えるとともに、技術向上と、東京 2020 大会開催の気運醸成を図る。

〈平成 29 年度予定種目〉 6 種目

卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、サッカー、タグラグビー



卓球教室 (平成 28 年度)



サッカー教室 (平成 28 年度)



バレーボール教室 (平成 28 年度)



バスケットボール教室 (平成 28 年度)

(2) フェンシング教室・車いすフェンシング教室

東京都フェンシング協会及び日本車いすフェンシング協会と連携を図り、通年のフェンシング教室・車いすフェンシング教室を平成 27 年 4 月から開始し、北区から東京 2020 大会の日本代表選手輩出を目指す。



(3) キッズアスレティックス

オリンピック出場選手らの専門指導員を小学校に招聘し、「跳ぶ」「投げる」「走る」の三要素を基本とした国際陸上競技連盟の世界共通の運動能力向上プログラムを実施し、身体運動の基礎能力を育成する。

また、各小学校の体育教諭を対象として指導者育成の講習会を開催し、小学校独自のプログラム展開を目指す。



(4) オリンピアンスケート教室

ウィンタースポーツの代表的種目であるスケートに対する興味関心を喚起させ、新たなスポーツ人口を創出するとともに、子どもたちのバランス感覚や体幹機能を強化するなど、運動能力の向上を図ることを目的に、オリンピックや世界選手権で活躍したスケート選手による教室を開催する。

〈平成 28 年度実績〉

実施日 10月29日(土)、11月26日(土)

会場 東大和スケートセンター

講師 大菅小百合氏(ソルトレイクシティ五輪、トリノ五輪日本代表)
石野枝里子北区スポーツコンダクター(トリノ五輪日本代表)
日本スケート連盟インストラクター



2 北区スポーツ大使の任命

(1) 目的

「トップアスリートのまち・北区」PRの旗手として、北区にゆかりのあるトップアスリートを「スポーツ大使」として任命し、さまざまな場面を通じて、北区の魅力発信を図る。

(2) スポーツ大使

①上田 春佳（うえだ はるか）氏 平成28年10月1日任命



元競泳選手（現：キックマン社員）

北区西ヶ原出身（西ヶ原小、武蔵野中学校・高等学校卒業）

2012年ロンドン五輪銅メダル（女子400mメドレーリレー）

2012年（平成24年）10月 北区区民文化奨励賞受賞

②高橋 勇市（たかはし ゆういち）氏 平成28年10月1日任命



視覚障害の陸上競技・マラソン選手（三菱商事所属）

北区在住（秋田県横手市出身）

2004年アテネパラリンピック金メダル（マラソン）

2005年（平成17年）3月 北区区民文化奨励賞受賞

③石野枝里子（いしの えりこ）氏 平成29年3月31日任命

※新規



元スピードスケート選手

2006年トリノオリンピック チームパシュート4位

2010年ワールドカップ5000m 日本記録樹立

2014～2016年度 北区スポーツコンダクター

(3) 大使の役割

北区のイベントなどに出席し、オリンピック・パラリンピックの気運醸成に努める。

また、区内外のイベント等において、主にスポーツの面から北区の魅力を発信する。

（参考）平成28年12月3日（土）
障害者週間記念講演会



3 障害者スポーツの普及

(1) 障害者スポーツ交流イベント【スポーツ推進課スポーツ推進係】

障害の有無にかかわらず子どもから高齢者まで、だれでも楽しめるスポーツイベントを開催し、区民の障害者スポーツへの理解・関心を深めるとともに東京 2020 大会の開催気運の醸成を図る。

〈平成 28 年度実績〉

- ①障害者スケート体験教室（どきどきスケート体験教室）
 - ・樹脂製リンクを設置し、スケートや氷上そり滑走の擬似体験教室を開催した。
- ②知的障害者サッカー教室
 - ・知的障害のある方及びその家族を対象としたサッカー教室を開催した。
- ③障害者週間記念講演会
 - ・障害者週間に障害を持つアスリートによる講演会を実施した。
- ④ハートスポーツフェスタ
 - ・東京都障害者総合スポーツセンター実施のスポーツイベントへ、共催事業として参加した。
- ⑤テニスフェスティバル
 - ・障害の有無に関わらずスポーツを通じて交流できるテニスイベントを開催した。



どきどきスケート体験教室



テニスフェスティバル

(2) 初級障害者スポーツ指導員の育成【スポーツ推進課スポーツ推進係】

地域における障害者スポーツの普及と発展を目指して、障害者スポーツ指導の基礎的知識・技術を習得した人材を育成するため、日本障がい者スポーツ協会の認定を受けて、区主催の養成講習会を開催する。

また、障害者スポーツ指導員の有資格者の活躍の場を提供するため、人材登録制度を導入し、区内のイベント情報を発信していく。

〈平成 28 年度：第 1 回〉

日程：平成 29 年 2 月 25 日（土）、3 月 5 日（日）、11 日（土）、12 日（日）

対象：区内在住、在勤、在学の 18 歳以上の方

定員：30 名（抽選）

4 スポーツ施設のバリアフリー化

【スポーツ推進課スポーツ支援係】

(1) 目的

東京 2020 大会を見据え、区内スポーツ施設及び施設のアクセスルートのバリアフリー化を推進し、障害者や高齢者がスポーツに参加しやすい環境を整備する。

(2) 検討会報告

平成 26 年 11 月

- ・パラリンピック出場選手など障害者スポーツに識見のある方で構成する「北区内スポーツ施設等バリアフリー化検討会」を設置

平成 27 年 9 月

- ・9 回にわたる検討（現地調査・意見交換等）を経て、最終報告書を策定

(3) 整備実績

平成 27 年度

中央公園野球場・庭球場

- ・車いす用更衣室の新設、
- ・段差解消工事、
- ・点字ブロック（中央公園内）、
- ・車いす用観戦スペース（野球場）設置



車いす用更衣室 新設

平成 28 年度

滝野川体育館

- ・点字ブロック（滝野川公園内）

赤羽体育館

- ・点字ブロック（北本通りから施設まで）



段差解消・点字敷設

(4) 今後のスケジュール

平成 29 年度

北運動場及び赤羽スポーツの森公園競技場のバリアフリー化工事

- ・施設内の手すり設置、トイレ等の段差解消、冷水器更新（バリアフリー対応）
- 北運動場へのルート上に点字ブロックを敷設
- ・北本通りから北運動場までの区道（約 420m）に点字ブロックを敷設

5 スポーツボランティア制度の創設

※平成 29 年度 新規事業

(1) 目的

スポーツボランティア制度を創設し、スポーツ現場のボランティア確保・育成に取り組むとともに、ボランティアニーズの受け皿として機能させ、スポーツを通じた市民活動・社会貢献活動の活性化を図る。また、区のスポーツ現場を通して、東京 2020 大会におけるボランティアの担い手育成につなげ、東京 2020 大会後のボランティア文化の定着を目指す。

(2) 登録制度

①概要

- ・登録者へ区からイベント情報・ボランティア募集等の情報をお知らせ（メール配信）し、活動場所を紹介する。

②主な活動内容

- ・区、教育委員会、地域団体が主催・共催・後援するスポーツイベントの運営補助（例）会場設営、受付補助、参加者誘導

③登録要件（いずれかに該当する方）

- ・区内在住、在勤、在学の満 15 歳以上の方（中学生を除く）
- ・区内に本拠地を置くスポーツ・レクリエーション団体等の構成員で満 15 歳以上の方

※20 歳未満の場合は保護者の同意が必要。

(3) 養成講座

①概要

- ・スポーツボランティアの現場で活かせる知識・技術を学ぶ場として、養成講座を開催する（年 4 回実施予定）。

②内容（平成 29 年度開催予定）

- 第 1 回 北区スポーツボランティア制度の紹介
- 第 2 回 ボランティア活動の基本
- 第 3 回 イベントの安全管理運営と救急救命
- 第 4 回 障害者スポーツの現状等

③開催案内

- ・北区ニュース、北区ホームページ
- ・ぷらざ通信（NPO ボランティアぷらざ）
- ・メール配信 ※スポーツボランティア登録者

6 事前キャンプ誘致

(1) 目的

東京 2020 大会に向けて、区立のスポーツ施設を活用して事前キャンプの誘致に取り組み、子ども達の夢や希望、国際理解、障害者理解などのレガシー創出や、地域の活性化・魅力発信につなげていく。

(2) 事前キャンプ概要

各国・地域の選手団が、時差やコンディション調整を目的として任意に実施するトレーニング

(3) 立候補

組織委員会及び東京都が世界各国・地域の選手団に候補地を PR する紹介リストに、キャンプ受入れが可能な区立スポーツ施設を掲載した。

〈掲載内容〉

主 体	組織委員会	東京都
名 称	東京 2020 事前キャンプ 候補地ガイド	東京都事前キャンプ候補地紹介用 ホームページ
公開時期	平成 28 年 8 月 5 日 (リオ大会開会時)	平成 28 年 7 月 27 日
施設基準	I F (国際競技連盟) の 基準を満たす施設	都が定める基準 (一般利用可能な種目)
掲載施設 ・種 目	①滝野川体育館 (オリ) 柔道 ②赤羽体育館 (オリ) フェンシング (パラ) 車いすフェンシング	①滝野川体育館 ②赤羽スポーツの森公園競技場 ③赤羽体育館 【いずれも、一般利用が可能な種目を掲載】
【紹介】 宿泊施設 情 報	ホテルメッツ赤羽 ホテルメッツ田端	

(4) 平成 29 年度以降

外国の選手団に対して事前キャンプ受入れ可能施設や北区の個性・魅力を紹介する外国語版の PR 冊子を作成し、誘致活動を進めていく。

また、事前キャンプ誘致の実現に向けて、上記紹介リストの掲載のみならず、区の強みを活かしたフェンシング・車いすフェンシングの誘致活動を展開していく。

7 トップアスリートのまち・北区の推進

(1) 「ROUTE2020 トレセン通り」 関連事業

日本トップレベル競技者のトレーニング施設のある西が丘からJR赤羽駅及びJR十条駅に通じる道路に愛称名を設定し、この道路がオリンピック・パラリンピックを想起させる「トップアスリートのまち・北区」のシンボルとして相応しい景観となるよう整備し、区の魅力として発信していく。

①愛称名（平成27年3月設定） ROUTE2020 トレセン通り

②愛称サイン（10か所設置）

愛称名を浸透及び定着させ、通り周辺区域をトップアスリートのまちの拠点として全国に発信していくため、愛称名のシンボルマーク（ロゴデザイン）を用いた標識を通り沿いに設置した。

〈PRイベント〉

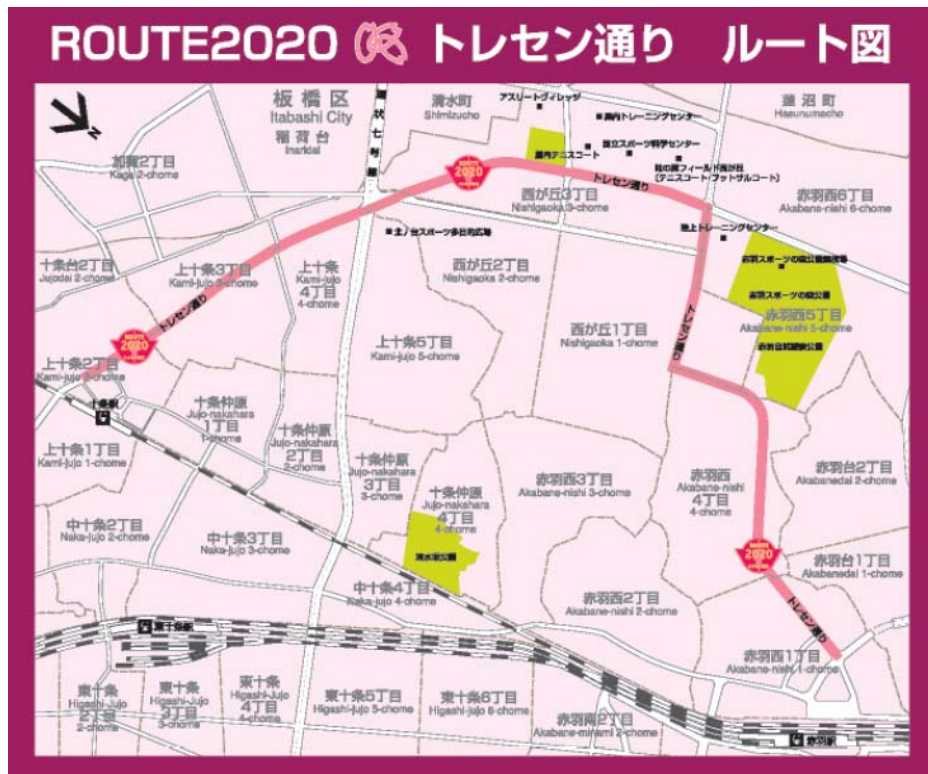
開催 平成27年9月13日（日）

- ・愛称サイン除幕セレモニー
- ・2020ウォーキングツアー
- ・アスリート交流イベント



③公共施設の総合案内サイン

ルートの起点・終点となる駅前に「トップアスリートのまち・北区」をテーマにデザインした公共施設の総合案内板を設置した。



(2) 「トップアスリートのまち・北区」 駅前 PR 広告塔

「トップアスリートのまち・北区」を区内外に効果的に発信していくため、平成 26 年度に赤羽駅西口及び十条駅北口に駅前 PR 広告塔を設置した。平成 28 年度は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックから東京オリンピック・パラリンピックに切り替わる年度であるため、駅前 PR 広告塔がより東京オリンピック・パラリンピックを彷彿とさせるデザインとなるよう更新した。

〈新デザイン〉



赤羽駅西口（2面）



十条駅北口（4面）

〈デザイン更新〉

包括協定を結んでいる東京家政大学の学生からデザインを公募し、16 作品（8 名×2 枚）が応募された。JOC エリートアカデミー生及び東京都障害者総合スポーツセンター職員の投票により、2 作品を最終候補とした。

平成 29 年 2 月中旬に北区全職員（再任用、再雇用、教職員、非常勤職員を含む）対象の投票により、最終デザインを決定した。

（平成 29 年 3 月更新完了）

(3) 東京 2020 大会開催の気運を醸成するポスターの掲示

「トップアスリートのまち・北区」として、東京 2020 大会の気運醸成を図るとともに、味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）や国立スポーツ科学センター（JISS）で練習を重ねるトップアスリートを応援するため、ポスターを作成し、公共施設や各駅などに掲示した。




8 アスリートの手形モニュメントの設置

(1) 目的

オリンピック・パラリンピックが放つ特有の団結力や求心力を活用し、世界最大のスポーツイベントに関連する事業展開を行うことで、まちの活性化や地域のきずなづくりを推進するとともに、「トップアスリートのまち・北区」を構築していく。

(2) 設置場所

区立稲付西山公園

味の素ナショナルトレーニングセンター及び「ROUTE2020 トレセン通り」に隣接しており、「トップアスリートのまち・北区」を効果的にPRする。

(3) 手形アスリート

【スポーツ大使：2名】

①上田春佳スポーツ大使（北区西ヶ原小学校卒）

※ロンドンオリンピック 競泳 4×100mメドレーリレー銅メダル

②高橋勇市スポーツ大使（北区在住）

※アテネパラリンピック マラソン金メダル

【リオオリンピック出場選手：2名】

③中村航輔選手（北区王子桜中学校卒）：サッカー男子

④長谷川涼香選手（北区田端中学校卒）：競泳

【リオパラリンピック出場選手：2名】

⑤池愛里選手（北区在学）：競泳

⑥多川知希選手（北区在住）：陸上 ※4×100mリレー銅メダル

※今後、手形アスリートの数を増やしていく予定

(4) デザインコンセプト

トレセン通りを照らす象徴として炎をモチーフにデザインした。また、見て触れることのできるアスリートの手形が、北区民とオリンピック・パラリンピックを、より身近な距離へと近づけていく。

(5) 除幕セレモニー

日時 平成29年4月22日（土）午前10時

※実施結果掲載



9 インバウンド（訪日外国人）対応力の向上

（1）外国人旅行者向け観光ガイドマップ【観光振興担当】

東京 2020 大会開催に向けて、外国人旅行者にとって魅力ある北区の地域資源の効果的な情報発信を行い、北区への来訪を促進していく。

※英語版・中国語版・ハングル版 A4×12 ページ

※配付先 ・海外 北京・上海・ソウル等の旅行代理店、友好都市等
・国内 都庁・東京駅の観光案内所、区内ホテル

（2）外国人ウェルカム商店街事業【産業振興課】

東京 2020 大会を見据え、商店街に訪れる外国人におもてなしをするため、外国語会話ができなくても接客対応ができるツールとして、コミュニケーションボードを東洋大学と連携して飲食店編を作成した。

※英語版・中国語版・フランス語版・ハングル版 各 1 枚の 4 枚綴り

※平成 29 年度：小売店編を作成予定

（3）外国人旅行者等向け公衆無線 LAN（Wi-Fi）の整備

※拡充

【産業振興課・観光振興担当・区民情報課】

商店街を含む区内観光地の回遊性を高め、外国人旅行者等来街者の増加につなげるため、区内施設（北とぴあ・赤羽観光 PR コーナー）に公衆無線 LAN を整備する。

また、商店街が公衆無線 LAN を整備する際に経費補助を実施（1 か所）する。

（4）来た KITA オリパラプロジェクト（ボランティア育成）【生涯学習・学校地域連携課】

東京 2020 大会の開催を見据え、区民の自主的なボランティア活動や訪日外国人に対するおもてなしを促進させるため、世界各国の歴史・文化・言語について学ぶ講座を開催する。

おもてなしに関する知識・教養を習得する場とするとともに、同じ興味・関心を持つ区民の出会いの場として機能させ、継続的な社会貢献活動につなげていく。

10 安全・安心なまちづくりの促進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた

安全・安心なまちづくりに関する覚書【危機管理課】

東京 2020 大会の開催を見据え、国際テロ等の未然防止対策や治安対策など安全・安心なまちづくりをさらに強化するため、北区と区内 3 警察署と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた安全・安心なまちづくりに関する覚書」を平成 28 年 11 月 28 日に締結した。

覚書締結後は、区内 3 警察署と、国際テロ等の未然防止対策、防犯カメラ対策、交通安全対策、地震・風水害対策、児童虐待や高齢者虐待対策などについて協議を推進する。

11 東京都オリンピック・パラリンピック教育

【教育指導課】

(1) 目的

東京 2020 大会を、子どもたちの人生にとって、またとない重要な機会と捉え、豊かな国際感覚を醸成し、ともに力を合わせて生活する共生社会を実現するため、都内全ての公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等を対象とした「東京都オリンピック・パラリンピック教育」を展開する。

学校ごとに、特色及び経営方針等に基づいて年間指導計画を作成し、年間 35 時間程度を目安として計画的に教育活動を進める。

(2) 重点的に育成すべき5つの資質

①ボランティアマインド

発達段階に応じたボランティアに関わる取組みを推進する。

②障害者理解

学習や障害者スポーツの体験・交流を通して、心のバリアフリーを浸透させる。

③スポーツ志向

フェアプレーやチームワークの精神を身に付け、心身ともに健全な人間へと成長させる。

④日本人としての自覚と誇り

日本人特有の規範意識、公正・公平な態度や公共の精神などを身に付ける。

⑤豊かな国際感覚

世界の多様性を受け入れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする力を育成する。

(3) 4つのプロジェクト

①東京ユースボランティア

各学校が取り組んできた社会奉仕活動を充実・拡大する。

②スマイルプロジェクト

障害者スポーツの観戦や体験・交流などを行い、思いやりの心を育成する。

③夢・未来プロジェクト

アスリート等を学校に派遣し、オリンピック・パラリンピックのすばらしさを実感するとともに、夢に向かって努力する意欲を培う。

④世界ともだちプロジェクト (Global Friendship Project)

東京都から割り当てられた大会参加予定国について、各学校が幅広く学び、実際の交流へと深化させていく。

12 スポーツコンダクター制度

※リニューアル（平成 29 年度～）

（1）目的

世界の大舞台で活躍したアスリートが持つ経験やこれまでの実績を活かしたスポーツ指導や講演等を行い、スポーツへの関心や運動能力の向上を図るとともに、東京 2020 大会に向けた開催気運の醸成を図ることを目的とする。

アスリートの協力を得て、さまざまな事業・イベントに派遣していく。

（2）スポーツコンダクター

北区ゆかりのアスリート

（例）北区スポーツ大使

区内在住・在勤・在学のアスリート
事業等で関わりのあるアスリート



（3）実施内容

（例）運動の実技指導

講演（学校・保護者・地域等）
スポーツ推進に係る業務



（4）過去に協力いただいた主なアスリート

①石野枝里子氏（元スピードスケート選手）

・北区スポーツ大使

2006 年トリノオリンピック チームパシュート 4 位入賞

2014～2016 年度：スポーツコンダクター専任（非常勤職員）

②上田春佳氏（元競泳選手）

・北区スポーツ大使

2012 年ロンドンオリンピック 4×100mメドレーリレー 銅メダル

③高橋勇市氏（マラソン選手）

・北区スポーツ大使

2004 年アテネパラリンピック マラソン視覚障害の部 金メダル

④多川知希氏（陸上選手）

・2016 年リオパラリンピック 陸上 4×100mリレー 銅メダル

⑤安 直樹氏（車いすフェンシング選手）

・北区主催車いすフェンシング教室参加
日本選手権大会優勝

⑥大山妙子氏（元バスケットボール選手）

・2004 年アテネオリンピック出場

13 北区リレーションシップ協議会

(1) 目的

東京 2020 大会に向けて、関係団体・地域の連携強化を図り、北区全体で開催気運を醸成するとともに、地域の自主的な取組みを促進するため、関係団体・地域等で構成された北区リレーションシップ協議会を設置する。

(2) 開催頻度

年2回程度開催（平成 28 年 12 月 19 日に第 1 回を開催）

(3) 構成員

区分	No.	団体等
学識経験者	1	東洋大学 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 教授
スポーツ	2	北区スポーツ大使
	3	北区スポーツ大使
	4	独立行政法人 日本スポーツ振興センター 西が丘管理部
	5	東京都障害者総合スポーツセンター
	6	公益財団法人 東京都北区体育協会
	7	れっど★しゃっふる（地域総合型スポーツクラブ）
	8	北区スポーツ推進委員協議会
地域・産業	9	北区町会自治会連合会
	10	北区商店街連合会
	11	東京商工会議所北支部
文化・観光	12	一般社団法人 東京北区観光協会
	13	公益財団法人 北区文化振興財団
教育	14	北区立小学校体育会
	15	北区立中学校体育会
	16	北区立小学校 PTA 連合会
	17	北区立中学校 PTA 連合会
	18	北区青少年地区委員会会長会
	19	北区青少年委員会
行政	20	北区政策経営部長
	21	北区地域振興部長
	22	北区教育委員会事務局教育振興部長

14 その他の取組み

(1) 2016 リオデジャネイロ競技大会に関する取組み

① 応援メッセージフラッグ・DVD の寄贈

(平成 28 年 6 月 27 日)

- ・日本代表選手に向けた応援メッセージを作成し、JOC へ寄贈した。



② 日本代表選手団のお見送り

- ・NTC から出発する競技団体 (4 団体) に対し、お見送りを実施した。

③ 北区ゆかりの日本代表選手への懸垂幕等の掲示

(2) NO LIMITS CHALLENGE (東京都パラリンピック体験プログラム)

- ・赤羽体育館オープニングイベント内で実施 (平成 29 年 1 月 29 日)

実施競技 車椅子バスケットボール、陸上競技用車椅子

出演者 根木慎志氏 (車椅子バスケットボール元日本代表)

鈴木朋樹氏 (陸上競技)

田中琴乃氏 (新体操)

(3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー

① フラッグ歓迎セレモニー

- ・赤羽体育館オープニングイベント内で実施 (平成 29 年 1 月 29 日)

スペシャルアンバサダー TOKIO 長瀬智也氏

アンバサダー 根木慎志氏 (車椅子バスケットボール元日本代表)



② フラッグ展示

- ・期間 平成 29 年 2 月 18 日 (土) ~24 日 (金)

- ・場所 北とぴあ 1 階 区民プラザ

(4) カウントダウンサイン

- ・東京 2020 大会開催までの日めくり

サインを設置

(赤羽体育館：平成 29 年 1 月 29 日設置)



(5) アスリート就職支援「アスナビ」事業（北区・板橋区合同）

アスリートの練習拠点と区内企業が近い距離にある地理的優位性を活かし、アスリートの経済基盤と練習環境を結び付ける支援を行うとともに、産業の活性化に資する取組みを実施する。



実技を披露（平成 28 年）

〈平成 29 年度〉 アスナビ説明会（第 4 回）

日 時 平成 29 年 7 月 19 日（水）

場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター

主 催 公益財団法人 日本オリンピック委員会

共 催 北区、板橋区、東京商工会議所城北ブロック

アスナビ採用事例（主な選手）

城北信用金庫 清水珠夏氏（陸上競技・走り幅跳び）平成 27 年入庫

大村朱澄氏（カヌー・スプリント・カヤック）平成 27 年入庫

山田あゆみ氏（フェンシング・エペ）平成 27 年入庫

久良知美帆氏（フェンシング・フルーレ）平成 28 年入庫

山田美諭氏（テコンドー）平成 28 年入庫

鈴木沙織氏（スキー・フリースタイル）平成 28 年入庫

日本製紙総合開発株式会社 小池詩織氏（アイスホッケー）平成 27 年入社

株式会社なとり 大橋里衣氏（フェンシング・エペ）平成 27 年入社

東京書籍株式会社 鈴木セルヒオ氏（テコンドー）平成 29 年 4 月入社

(6) スポーツ祭り 2016 における北区連携プログラム

スポーツ庁及び公益財団法人 日本オリンピック委員会等が主催する「体育の日」中央記念行事・スポーツ祭り（会場：味の素ナショナルトレーニングセンター）の、地元北区の児童等による「憩いの広場ステージ」運営をサポートする。

〈平成 28 年度〉 北区ステージ出演団体

- ・西が丘児童館バトンクラブ
- ・YOCS All Star Cheer STARS Crystal（チアリーディング）

